

## 富山県南砺市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2022年～2024年

## (1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はコールターゲット番号	当初値	2022年	2023年	2024年	2030年（目標値）	達成度（%）
1	新規雇用者数【8.3】	2020年 111 人	2022年 114 人			2030年 200 人	3.4%
2	市内で買物をする市民の割合【8.2】	2020年 54.2 %	2022年 53.0 %			2030年 54.2 %	97.8%
3	自らまちづくりに取り組む市民の割合【17.17】	2020年 41.7 %	2022年 44.1 %			2030年 58.0 %	14.7%
4	地域とのつながりを実感する市民の割合【11.3】	2020年 67.9 %	2022年 65.5 %			2030年 68.0 %	96.3%
5	木質バイオマスによる年間CO2削減量【13.3】	2020年 1,652 CO2-t	2022年 1,300 CO2-t			2030年 2,000 CO2-t	-101.1%
6	住み続けたいと思う市民の割合【11.3】	2020年 70.6 %	2022年 67.7 %			2030年 70.6 %	95.9%

## (2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況（2022年～2024年）

No	取組名	指標名	当初値	2022年実績	2023年実績	2024年実績	2024年目標値	達成度（%）
1	①空き家活用型しごとの場合創出支援事業	年間新規起業件数	2020年 7 人	2022年 10 人			2024年 7 人	142.9%
2	②地場産業とのコラボレーション「クリエイター育成マッチング事業」	若者、女性の就業率	2020年 76.7 %	2022年 77.2 %			2024年 80.0 %	15.2%
3		南砺ブランド商品年間販売額	2020年 17.0 億円	2022年 15.8 億円			2024年 20.0 億円	-40.0%
4	③オーガニック農業の推進	学校給食の南砺市産農産物の使用率	2020年 36 %	2022年 34 %			2024年 36 %	94.4%
5		有機農業者数	2020年 21 人	2022年 23 人			2024年 21 人	109.5%
6	④伝統産業のリデザイン「南砺ブランド商品開発支援事業」	南砺ブランド商品年間販売額	2020年 17.0 億円	2022年 15.8 億円			2024年 20.0 億円	-40.0%
7	⑤地域の助け合いを育む「地域包括ケアシステム」	介護予防活動への参加率	2020年 2.1 %	2022年 2.6 %			2024年 5.0 %	17.2%
8		地縁組織による介護事業所数	2020年 36 事業所	2022年 33 事業所			2024年 64 事業所	-10.7%
9	⑥世界遺産合掌造り家屋の保存、茅場再生	民有合掌造り家屋の空き家数	2020年 0 戸	2022年 0 戸			2024年 0 戸	100%
10		茅場の造成面積	2020年 9,600 m <sup>2</sup>	2022年 10,600 m <sup>2</sup>			2024年 11,600 m <sup>2</sup>	50.0%
11	⑦ふるさと教育推進事業	子どもたちからふるさと振興への提案を行う年間学校数	2020年 0 校	2022年 2 校			2024年 2 校	100%
12	⑧小規模校や複式学級すべての人に教育を「学校間をつなぐ遠隔協働学習事業」	小中学校で遠隔協働学習を行う科目数	2020年 11 教科	2022年 10 教科			2024年 11 教科	90.9%
13	⑨エコレジャ活動	エコレジャ活動を行っている学校の数	2020年 2 校	2022年 2 校			2024年 5 校	0.0%
14	⑩桜ヶ池合掌造り家屋「かずら」での人材育成	「かずら」の年間利用者数	2020年 1,013 人	2022年 1,751 人			2024年 1,500 人	151.5%
15	⑪新たな暮らし方の提案「エコレジャ住宅ゾーン事業」	応援市民による貢献活動数	2020年 1,589 件	2022年 3,115 件			2024年 1,590 件	195.9%
16	⑫森林資源エコシステム構築事業	再生可能エネルギー導入容量（熱）	2020年 24,535 GJ	2022年 23,201 GJ			2024年 30,000 GJ	-24.4%
17		木質ペレット工場への年間木材搬入量	2020年 1,759 t	2022年 2,767 t			2024年 3,250 t	67.6%
18		ペレットストーブ等年間設置補助件数	2020年 12 件	2022年 16 件			2024年 12 件	133.3%
19		森林・林業人材育成研修受講者延べ人数	2020年 48 人	2022年 234 人			2024年 432 人	48.4%
20	⑬森林川海の連携「マイクロプラスチック、海洋汚染抑制」	一人一日あたりのごみ排出量（家庭系ごみ）	2020年 449 g	2022年 473 g			2024年 430 g	-126.3%
21		地域美化活動を行っている市民の数	2020年 3,625 人	2022年 3,543 人			2024年 5,000 人	-6.0%
22	⑭いのちの森をつなぐ次世代人材の育成「森の学校」「森の保育園」創設	応援市民による貢献活動数	2020年 1,589 件	2022年 3,115 件			2024年 1,590 件	195.9%
23		森林・林業人材育成研修受講者延べ人数	2020年 48 人	2022年 234 人			2024年 432 人	48.4%
24	⑮文化と教育の連携（文化芸術創造都市）「南砺の土徳文化、支え合いのまちづくり」	SDGsの言葉も意味も知っている市民の割合	2020年 32.7 %	2022年 52.5 %			2024年 40.0 %	271.2%
25	⑯住民自治の再構築「小規模多機能自治の推進」	自らまちづくりに取り組む市民の割合	2020年 41.7 %	2022年 44.1 %			2024年 53.0 %	21.2%
26	⑰コミュニティアンドの創出「南砺幸せ未来基金」	基金を活用して行う事業数	2020年 10 件	2022年 13 件			2024年 25 件	20.0%

## 富山県南砺市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2022年～2024年

## (3) SDGs未来都市計画推進のKPI達成に係る評価及び課題等

特に順調に進捗した事業、進捗が思わしくなかった事業等について記載する。

## ①空き家活用型しごとの場創出支援事業

移住促進施策に積極的に取り組み、移住者の市内の空き家・空き店舗等を利用した開業や新規事業立ち上げにつながったことで、年間新規起業家数（(2)指標No.1）が目標を上回る結果となった。

## ②地場産業とのコラボレーション「クリエイター育成マッチング事業」、④伝統産業のリデザイン「南砺ブランド商品開発支援事業」

南砺ブランドである「南砺の逸品」に関して、販路拡大に向けて商品改良・開発、営業ツールのブラッシュアップ等について事業者の支援を行うほか、南砺の逸品制作体験を実施することで、市内外から参加者がクリエイタープラザに集まり、クリエイターと市内事業者のマッチング、クリエイタープラザの活用が可能になった。南砺ブランド商品販売額（(2)指標No.3、6）は後退している結果になっているが、「南砺の逸品」ECサイト販売額は順調に伸びており、引き続き商品改良・開発によるブランド力向上、大規模展示会への出展等を通じた販路開拓を図っていく。

## ③オーガニック農業の推進

2022年度に「南砺市有機農業実施計画」を策定し有機農業の推進に取り組み、2023年度には「オーガニックレτζ宣言」も行った結果、有機農業者数（(1)指標No.5）が目標値より上回っている。市民への有機農業の意識醸成も図っていき、南砺ブランド商品年間販売額（(2)指標No.3、6）や市内で買物をする市民の割合（(1)指標No.2）の向上にもつなげる。

## ⑤地域の助け合いを育む「地域包括ケアシステム」

人手不足や需要の低さにより介護サービス事業が続かない地区も出て、地縁組織による介護事業所数（(1)指標No.8）は後退している。各方面への情報発信を強化し、事業の有効性をPRしていく。また、興味を示した団体へは積極的に職員が出向き、指導や助言を行っていくことで、介護サービス事業の実施につなげる。

## ⑨エコレτζ部活動

各学校に個別に呼びかけを行い、新たにエコレτζ部活動への取り組みを検討いただっており、2023年度より1校追加（(2)指標No.13）。

## ⑫森林資源エコシステム構築事業

木質バイオマスエネルギーの活用に関して、ペレットストーブ等年間設置補助件数（(2)指標No.18）が目標値を超えるなど各家庭への普及が順調に進んでいる一方で、公共施設に導入している木質ボイラーに関して、経年劣化による故障等で稼働時間が伸びず木質燃料の使用量が減少したことにより、再生可能エネルギー導入容量（(2)指標No.16）や環境面全体の指標としている木質バイオマスによる年間CO2削減量（(1)指標No.5）は後退している。2023年度には木質ボイラー等設置に対する補助事業を新設しており、民間事業所での導入も進め、木質バイオマスエネルギーの地産地消による地球温暖化対策、経済循環を引き続き促進していく。

## ⑬森里川海の連携「マイクロプラスチック、海洋汚染抑制」

コロナ禍の影響により家庭ごみ量が増加傾向であることや地域美化活動の輪が広がっていない（(2)指標No.20、21）。環境教育に関する出前講座の受講を積極的に呼びかけ、市民の環境への意識を向上させる。

## ⑮文化と教育の連携（文化芸術創造都市）「南砺の土徳文化、支え合いのまちづくり」

市民の要望に寄り添った出前講座の実施や映画上映やワークショップを行うSDGsカフェ等を通して、SDGsの視点から地域の自然、文化、歴史、人などの地域の魅力と課題、具体的な施策等を市民へ伝えることで、SDGsの言葉も意味も知っている市民の割合（(2)指標No.24）が大きく向上した。また、「なんとSDGsパートナー」の登録数も着実に伸びてきている。今後は、各主体の取組の可視化や地域内での連携を促すワークショップの開催を通して、市民や地域企業・団体の地域のための実践活動を促進していく。

## ⑯コミュニティファンドの創出「南砺幸せ未来基金」

南砺幸せ未来基金が地域内の資金循環・財政的基盤を目指し設立され、基金を活用して行う事業数（(2)指標No.26）が徐々に増えてきている。2023年度には、取組の段階ごとに分けた助成事業を新たに立ち上げるなど、より市民に寄り添った支援体制を整え、地域と市民の自立性を高めることで持続可能な地域を目指す。